

製品名: COL5A2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09192**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	COL5A2
別名	COL5A2; Collagen alpha-2(V) chain
遺伝子 ID	1290.0
SwissProt ID	P05997
免疫原	抗血清はヒトコラーゲン Va2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

背景

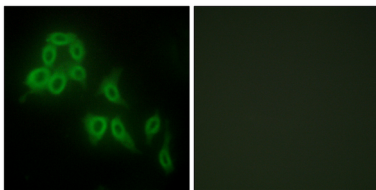
この遺伝子は、少量しか存在しない線維性コラーゲンの1つのアルファ鎖をコードしています。線維性コラーゲン分子は、1種類以上のアルファ鎖から構成される三量体です。V型コラーゲンは、I型コラーゲンを含む組織に存在し、I型とV型コラーゲンの両方から

構成される異型線維の組み立てを制御していると考えられます。この遺伝子産物は XI 型コラーゲンと密接に関連しており、V 型と XI 型のコラーゲン鎖が、組織特異的な鎖の組み合わせで単一のコラーゲン タイプを構成している可能性があります。この遺伝子の変異は、エーラスダンロス症候群の I 型と II 型に関連しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、疾患:COL5A2 の欠陥は、エーラスダンロス症候群 1 型 (EDS1) [MIM:130000] の原因です。重症エーラスダンロス症候群または重症古典型エーラスダンロス症候群としても知られています。EDS は、皮膚の過伸展、組織の脆弱性による皮膚の萎縮性瘢痕、および関節の過弛緩を特徴とする結合組織疾患です。EDS1 は、古典的なエーラスダンロス症候群の重症型です。、疾患: COL5A2 の欠陥は、エーラスダンロス症候群タイプ 2 (EDS2) [MIM:130010] の原因です。エーラスダンロス症候群マイティスまたは軽度古典型エーラスダンロス症候群としても知られています。、疾患: COL5A2 の遺伝子変異は、特発性頸動脈解離 (sCAD) と関連しています。sCAD は、若年および中年患者における脳卒中の重要な原因です。ほとんどの sCAD 患者の皮膚生検で超微細構造異常が観察されます。主な所見には、拡大して不規則なコラーゲン原線維と、顕著な弾性線維の断片化が含まれます。、機能: V 型コラーゲンは、グループ I コラーゲン (原線維形成コラーゲン) のメンバーです。ほぼ普遍的に分布する、結合組織の微量成分です。V 型コラーゲンは、DNA、ヘパラン硫酸、トロンボスポンジン、ヘパリン、インスリンと結合します。V 型コラーゲンは、組織特異的なマトリックスの組み立てにおいて重要な決定因子です。、PTM: トリペプチド繰り返し単位 (G-X-Y) の 3 番目の位置にあるプロリンは、一部またはすべての鎖で水酸化されています。、類似性: 線維性コラーゲンファミリーに属します。、類似性: 1 つの VWFC ドメインを含みます。、サブユニット: ほとんどの組織では 2 つの $\alpha 1(V)$ 鎖と 1 つの $\alpha 2(V)$ 鎖の三量体であり、胎盤では 1 つの $\alpha 1(V)$ 鎖、1 つの $\alpha 2(V)$ 鎖、1 つの $\alpha 3(V)$ 鎖の三量体です。、

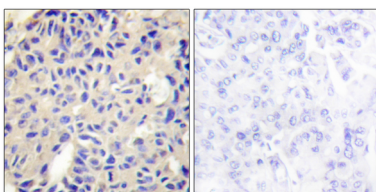
研究分野

焦点接着;ECM-受容体相互作用;

画像データ



コラーゲン Va2 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



コラーゲン Va2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。